

令和2年度 京しごと技能検定 開催

令和2年11月25日(水) 10:45~15:30 京都府立伏見港公園 体育館



令和2年11月25日(水)京しごと技能検定が京都府立伏見港公園体育館にて開催されました。京都府立特別支援学校10校から135名の生徒が参加しました。新型コロナウイルスの影響により、昨年より少ない参加生徒数となりましたが、協会検定員14名の協力にて検定ごとの検定使用資機材を都度消毒し、生徒は安心して検定に専念できたと思います。今回の検定で5回目となりましたが、コロナ渦の状況で、各方面に注意を凝らした公益事業委員会のチームワークと連携力が十分に発揮されました。公益事業委員会の皆さま大変お疲れ様でした。

京しごと検定は、府立特別支援学校の生徒による日頃の職業訓練の成果の発表の場となります。生徒の向上心を育てつつ就労につながるスキルの習得と、府民や企業からの理解と信用を得ることで雇用の促進を図ることを目的としています。検定の内容は、「単一型」乾式モップ・自在ほうき・タオルのいずれかの1種を行うタイプと、「複合型」乾式モップ・自在ほうき・タオルを一連の流れで行うタイプに分かれて

おり、検定員の評価結果に基づき認定証が授与されます。藤井京都ビルメンテナンス協会会長の熱のこもった挨拶のあと、生徒たちはそれぞれの検定を行うコートに移動し、緊張感漂う空気の中、日頃の練習の成果を発揮されていました。検定員を務めることとなった先生方も、作業終了後に拍手がわくと、双方から笑みがこぼれていました。

技能検定といった公の場で自分の努力に対する客観的な評価を得ることが、特別支援学校に通う生徒達の自信に繋がると良いと思います。京都ビルメンテナンス協会は、今後も就労支援に繋がる活動を続けることで貢献をしていきたいと考えております。

広報委員会 山下 耕平



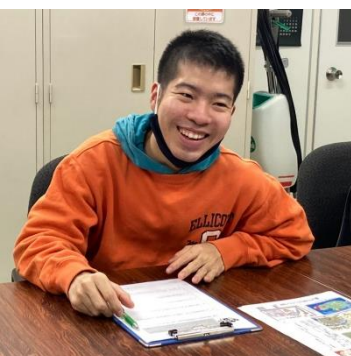
ホッとコーヒーはいかがですか?



今回は、昨年11月に愛知県で開催された全国アビリンピックに京都府代表として出場された 代田 慧さん(市立鳴滝総合支援学校卒業、(株)クラウディア)、下内寿也さん(府立丹波支援学校)、下内さんの指導者として共に全国大会に挑まれた府立丹波支援学校の石原邦彦先生の3名にお話を伺います!

Café 南部 まずは下内君、銀賞 おめでとうございます! 代田君は大会側からまだ結果が出ていない状態で落ち着かないとは思いますが、ひとまずお疲れ様でした!さて、早速ですが代田君にとっては2回目の全国大会、下内君と石原先生にとっては初めての全国大会、どうでしたか?

代田 前日の夜は引率者の山崎さん(当協会講師)の部屋でお菓子食べながら「明日は頑張ろう〜」みたいな話をして...



当日の朝、5時に目が覚めてしまい、一人で朝ごはん食べてお風呂に入って散歩して...それから会場入りしました。

南部 朝から散歩(笑)余裕!?でも朝5時に目が覚めてしまうなんて、やっぱり緊張もあった?

代田 緊張していたつもりはないんですけどね。

下内 僕もそんな緊張はしなかったけど...でもやっぱり出番前には少し緊張したかな。

南部 WEB配信観てただけど、どちらもすごく落ち着いていて堂々としていて。練習よりもいい演技で感動しました!息止めながら、観てた。あれ?緊張してたのはこっちか!

石原 周りの方が緊張していたかもしれませんね(笑)僕もビデオ撮る手が震えて抑えるのがたいへんでした!

南部 ビデオ係、わかります!(笑)今回は無観客ということで応援に行けず残念だったのですが...意外にもWEB配信、良かったんです。広く一般の方にも観ていただけて。今後ぜひWEB配信続けてほしいなあ。友人からも「見たよ!かっこいい!」とたくさんメッセージが届きました。それと二人のユニフォームもすごく画面映えしていましたね!



下内 あれは最後の練習の後、石原先生に連れて行ってもらったワークマンで買いました。黄色の帽子には学校みんなからの応援メッセージが書いてあるんです。もう使うことも

ないどこに置いといたらいいねんって感じやけど。

石原 なんちゅうこと言うねん！宝物にしてくれよ！辛いときに見てくれよ！挫けそうになった時に見てくれよ！

南部 仲いいなあ(笑)

代田 僕のポロシャツは母校の鳴滝総合支援学校の先生たちが新調して贈ってくれたものです。腕のところに学校のキャラクター、鹿の『なるちゃん』がついてます。(←カワイデス)

南部 鳴滝の校長先生も教頭先生も、在校生じゃないのに協会に「代田を宜しくお願いします」って挨拶に来られて、練習も観に来てくださって・・・いい先生、いい学校やなあ。

代田 はい。本当にありがたいです！今回、突然「招聘選手として呼ばれてるぞ。どうする？」って中西教頭先生から連絡が来て、僕の中でアビリンピックはもう過去の出来事だと思ってたんでびっくりして。僕は今の職場も清掃業ではないですし、かなりブランクがあるので不安な気持ちもありました。練習もどうしたらいいのか、そもそも出てもいいのか、と。でも、こんな機会は一生に一度しかないから、ぜひチャレンジしてみたいって思いました。



南部 世界に向けてチャレンジできる機会なんて、一生に一度もない人がほとんどです！それで会社にどう説明したの？

代田 中西教頭先生が会社まで来てくれ、話してくれました。会社の方もみんな「がんばれ」って応援してくれました。

南部 代田君は人に恵まれてるね。というか、それは代田君がそういう人間関係をちゃんと築いている証拠やと思う。私も「代田君と一緒に仕事したいな」と普通に思うもんね。人にそう思わせるってすごいことやと思う。

代田 そんな風に言っていて嬉しいです。アビリンピックに挑戦したことで山崎さんや南部さん始め、いろいろな方との出会いがあったことが本当に嬉しいです。

南部 下内君はアビリンピックに挑戦して何か変わった？

石原 彼は学校で後輩から「師匠」って呼ばれてますよ(笑)

下内 アビリンピックの練習の指導してるから。それでその何人かの後輩から「師匠」って呼ばれてます。

石原 もともとうちの学校では清掃の課題にモップや掃除機はなかったんで、アビリンピックの練習となると今や他のどの先生よりも下内君の方が詳しいんでね(笑)

南部 下級生からすると憧れの存在でしょうねえ。

下内 あと、昔から知ってる人からは、顔が変わった、雰囲気が変わったって言われます。

石原 そうそう。それが一番大きいです。『京しごと技能検定』から始まり、次にアビリンピック京都大会に挑戦しよう、それが京都の代表として全国大会を目指す、日本一を目指す、その為には何が必要か、今の自分には何が足りないのか。高い目標を持ってチャレンジし続け努力したことで、自分に自信がついているんな事に積極的になったと思います。彼の影響力は大きく他の生徒たちにもいい刺激を与えていますね。

南部 代田君と一緒に練習できたのも良かったですね。最初の練習会では正直代田君との実力の差っていうのがわかりやすく出ていて、下内君が委縮してしまったらどうしよう、と不安に思っていたのですがそこからの成長がすごかった。

石原 本当に練習会等、協会の皆様のご協力に感謝しています。代田君もありがとう。そして下内君はこう見えて案外タフなんです(笑)

南部 下内君は卒業後はビルメン業に就職ですよ！

下内 はい、山崎さんの会社(マイカ-株)でお世話になります。

南部 じゃあこれからも長いお付き合いになりますね！(笑) 宜しくお願いします。そして、このアビリンピック挑戦の経験を活かして、お仕事頑張ってください！そして辛いときは・・・

石原 黄色の帽子を見てくれよ！！(笑)



代田君、下内君、そして石原先生、わざわざ協会までご足労いただき、楽しいお話をたくさん、ありがとうございました。代田君は本当に好青年、



下内君と石原先生はまるで兄弟のように仲良しで、笑いの絶えないインタビューとなりました！ありがとうございました！

★二人の競技動画は協会 LINE アカウントで観れます！ 事務局 南部 翼